

Weekly コラム

平成 29 年 9 月 26 日

〒541-0055 大阪府中央区船場中央 2-1

船場センタービル 4 号館 4 階

船場経済倶楽部

Tel 06-6261-8000

(NPO 法人 SKC 企業振興連盟協議会)

Fax 06-6261-6539

人の輪・衆智・繁栄

活動方針



当団体は、異なる業種の経営者が相集い、力を合わせ、自らの研鑽と親睦を通じて、斬新な経営感覚と新たな販売促進を創造して、メンバー同士でより健全な事業所とその事業所のイメージアップを図り、地域社会に貢献できる事業所となることを目的とする。

所有から共有へ

世界のシェアリング市場の規模は 2013 年時点では約 150 億ドルでしたが、2025 年までに約 20 倍の 3350 億ドルに拡大すると予測されています。ところが、海外に比べると日本は規制が多く、シェアリングサービスの普及が遅れていると言われています。それでも、日本におけるシェアリング市場の規模も 1 兆円を超え、2016 年には 1 兆 1800 億円超となりました。内訳はスペース、モノ、移動、スキル、お金の 5 つの分野から構成され、スペースがこのうちの約半数を占めています。また、各サービス、現在の倍以上の潜在市場であり、2 兆 6000 億円を超える市場だと推定されています。そして、その中でも現在注目されているのが駐車場シェアです。

駐車場シェアリングは、駐車場を借りたい人と個人の駐車場や更地などを駐車場として貸したい人とのニーズをインターネットで引き合わせるものです。駐車場オーナーの利点は、土地活用やクレジットカード決済なのでコインパーキングのような初期投資がかからないという点で、月々の収益から手数料が発生するだけです。また、企業でも営業していない曜日や時間帯だけ駐車場として貸し出すこともでき、楽天やリクルートなども参入したことでさらなる注目を集めています。そして、利用者にとっての利点は、駐車場を事前に確保しておけることや、駐車料金がコインパーキングの相場よりも 2 割～5 割安く設定されている点です。

さらに、より画期的なサービスとして、スマホアプリの「スマートパーキング」という駐車場シェアサービスが始まりました。このサービスは、現地まで行かずに駐車場の空き状況を確認することが可能で、また、スマホでの支払いや業界初の分単位で課金される料金をリアルタイムに確認することも可能にしました。これは、スマホと通信できる装置を搭載したカラーコーンが駐車場に設置されており、それにより利用者はスマホで場所やリアルタイムでの状況を確認し、その後現地でそのカラーコーンにスマホを近づけるだけで入出庫ができるという仕組みです。また、駐車場オーナーは、空いている駐車スペースに運営会社から受け取った専用のカラーコーンを置くだけで、駐車場として活用することができるということです。このサービスは去年から始まりましたが、NTT ドコモも参入し、愛知県から岐阜県、そして三重県と広がり、今では全国約 1000 ケ所の駐車場に拡大を続けています。

「物を使い回す」という方法は安価で利便性を高める一方、「物を買う」という経済活性化の礎を壊し、更なるデフレを促す可能性もあります。「お金を回す」という面ではまだまだ課題は多いのかもしれませんが。



記事の内容に関するお問い合わせは事務局までご連絡ください。